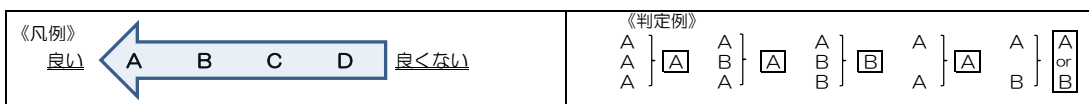


| | | | | | | | |
|------|--|----------|---|------|------------|---|------|
| 事業名 | 令和5年度 和田市民大学 佐倉学講座 楽しく学べる和田地域学 | | | | | | |
| ジャンル | 家庭教育 | ・ | 青少年教育 | ・ | 成人教育 | ・ | 団体育成 |
| 事業分類 | 実際生活に即する教育 ・ 学術及び文化に関する各種の事業 (社会教育法第20条「公民館の目的」より) | | | | | | |
| 事業意図 | 住民の教養の向上 ・ 健康の増進 ・ 情操の純化 (社会教育法第20条より) | | | | | | |
| 事業目的 | 生活文化の振興 ・ 社会福祉の増進 (社会教育法第20条より) | | | | | | |
| 日程 | 令和5年1月~令和6年1月 | 講師 | 佐倉市文化課 文化財班 須賀 隆章氏、林農園 林 重孝氏、佐倉市文化財審議会副委員長 遠山 成一氏、はたおり保存会 | 参加費 | 保険料1人800円 | | |
| 対象者 | 一般 | 参加者数(延べ) | 30 | 募集方法 | 広報誌、公民館だより | | |
| 趣旨 | 地域有識者・専門家等の指導・協力の下、和田地区の歴史・自然・民俗・産業等を学び、実際に体験することにより地域の魅力を再発見し、また地域課題の考察等を通して地域づくりの視野を広げ、今後の社会活動参加を促していく事を目的としている。 | | | | | | |
| 内容 | (1) 文化財がつなぐ地域の歴史文化 (2) 有機農業の取り組みについて (3) 和田の古道 (4) はたおり体験 | | | | | | |
| 工夫 | 古い歴史を持つ和田地区において、興味をもち、さらに知識を深めていくことを目的にしてテーマを広くし、歴史、農業、文化に関するもので組み立てた。 | | | | | | |
| 成果 | 和田地区における歴史・文化に関する取り組みや知識等を講座や体験を通して、さまざまな視点から深めることができた。 | | | | | | |
| 課題 | 和田地域学としている通り、内容が和田地区の歴史や成り立ちに基づくものとなるため、リピーターの参加者が多い反面、新規で応募される方の減少につながった。またテーマを広くしたため、参加者の興味が分散されてしまった。 | | | | | | |

【公民館による事業評価】

| 項目 | 評価 | 視点 |
|------|----|---|
| 必要性 | A | <ul style="list-style-type: none"> 公民館が行う必要があるか。 市民や利用者のニーズに合っているか。 目的や役割が薄れていないか。 事業の休止・廃止した場合の影響は大きいかな。 |
| 優先性 | A | <ul style="list-style-type: none"> 事業の優先度は高いか。 |
| 公平性 | A | <ul style="list-style-type: none"> 対象者に情報は流れているか。 受益者負担はあるか(実費・教材費) |
| 有効性 | B | <ul style="list-style-type: none"> 期待通りの成果が得られているか。 さらに成果を高めるためにやり方の見直しは必要か。 市民の満足度は高いか。 |
| 効率性 | B | <ul style="list-style-type: none"> 事業の効率性はどうか。 事業運営に学習者が参画しているか。 他事業との統合は考えられるか。 |
| 総合評価 | A | A: 適切で成果が得られている。 B: 課題あり、成果はある程度ある。 C: 課題あり、成果があまりない。 D: 成果が得られていない。 |
| 特記 | | |



| | | | | |
|-------|---|-------------------------|----------------------------|---------|
| 次年度展望 | ② | ①: 事業拡大 ④: 目的達成により終了 | ②: 現状規模で継続 ⑤: 統合・改善・その他 | ③: 事業縮小 |
|-------|---|-------------------------|----------------------------|---------|

☆公民館運営審議委員付帯意見

(A：適切で成果あり B：成果はあるが、改善の余地あり C：要改善)

| | | |
|------|---|-------------------------|
| 委員① | | 佐倉市として継続する意義の大きいテーマである。 |
| 総合評価 | A | |

| | | |
|------|---|--|
| 委員② | | 学区の和田小学校は小規模特認校に指定されている。そのような状況下だからこそ、自分たちの住んでいる地域の歴史を学び、自然に触れようという企画は大きな意味がある。ただ、課題にも書かれているとおり、新規の参加者を増やす企画かと問われると疑問はある。対象者のどの年齢層にターゲットを絞るかで、自ずと企画内容は変わってくる。ねらいを考えると、比較的若い年齢層が参加しやすいような内容や、小学校の学習とも重なるような企画があると、さらに良くなるのではないかと。 |
| 総合評価 | A | |

| | | |
|------|---|--------------|
| 委員③ | | 地域での必然性を感じる。 |
| 総合評価 | A | |

| | | |
|------|---|---|
| 委員④ | | 事業にご苦労されていることが伝わってきます。新規の参加者が少ないのは、このテーマでは興味を持つ人が少なくなってきたのか？ 興味を持っている人は既に受講してしまっているのかかもしれません。 |
| 総合評価 | B | |

| | | |
|------|---|---------------------------------|
| 委員⑤ | | はたおり体験がふだん出来ない事もあり、良い経験になったと思う。 |
| 総合評価 | A | |

| | | |
|------|---|--|
| 委員⑥ | | 和田地区の歴史、文化、産業等に興味を持ってさらに知識を深めることは大切なことですし、これからも継続して欲しいです。参加者が少なく大変残念です。PRの仕方の工夫が必要ではないでしょうか？ 例えば広報紙に「公民館特集」と題して市民の方々に公民館をより深く知ってもらうetc |
| 総合評価 | A | |

| | | |
|------|---|--|
| 委員⑦ | | 昭和の終わり頃から有機栽培を実践してきたのが弥富地区の林重孝さんで、なぜ有機農業が日本では普及しないのだろうかの問いに答えてくれます。私は40年近く前、林さんと出会いましたが、その頃、林さんのご両親は経験豊かなベテラン農家で、たまたま自宅を訪ねた折り「紅小町」というサツマ芋を収穫し、発色剤に浸けているところでした。父上曰く、「これをやらないと消費者が買ってくれない」と。林さんは「これが不要！」と、問題は流通段階にあるという見解に私も同感でした。「日本の農産物は安全」と信じて疑わない消費者が大勢いることも原因の一つだと私は思います。農水省の承認を得た肥料や農薬を使っているから、疑問の余地はないという見方で、近隣農家の長老たちも口を揃えてそう言います。同じ農地でも肥料が化学肥料のみでは地力が衰え、化学合成農薬を用いて育てた野菜と有機栽培のそれとは根本から異なります。戦後間もない食糧増産が課題だった頃と違い、量より質への転換をあまり重視しなかった結果かも知れません。林さんは若い多くの新規就農者を育ててきました。今回の講座は、近い将来の農業のあり方を示唆する意義あるもので継続を望みます。昨年度、佐倉市は「オーガニックビレッジ」を宣言しました。少し古くなりましたが、東京五輪で選手に提供された食材はすべてオーガニックが要件でした。オーガニックにこだわらない大多数の日本人は知らないと思いますが。 |
| 総合評価 | A | |

| | | | | |
|-----|--|------|---|--|
| 委員⑧ | | 総合評価 | B | <p>○興味を持ったのは、有機農業の取り組みです。この学びは、受講者にこの後どんな変化があったかにも関わるように思います。その点に関心を持ちました。農園の現場が弥富地区の坂戸とのことですので、和田に限ったものではないですし、あえてこの農園を取り上げた意図ももう少し詳しく説明があるとよかったです。</p> <p>○和田と言えば、はたおりです。その初歩の材料調達段階からの作業は気が遠くなるほどあり、学びは1回では到底無理ですから、1年を通して何回もできることです。参加者は市内各地区からも希望者がいるのではないのでしょうか。</p> |
| | | | | |

| | | | | |
|-----|--|------|---|--|
| 委員⑨ | | 総合評価 | A | <p>「楽しく学べる和田地域学」というタイトルにふさわしく、当該地区の歴史、農業、古道、はたおりを取り入れた、有意義な事業だと思います。和田公民館のメイン事業であることから、新規の応募者を掘り起こすための工夫をされたい。</p> |
| | | | | |

| | | | | |
|-----|--|------|---|---|
| 委員⑩ | | 総合評価 | A | <p>和田地区の文化財・農業・古道・はたおりなど複数の講座を佐倉学講座として、学び・体験を通して地域の教養向上に貢献していると思います。「ふるさと館歴史民俗資料室」には、古い農具・民具・機織り機などが展示されており、和田地区の古の農村の生活や習俗などを感じ取れる場所にもなっています。「文化財がつなぐ地域の歴史文化」の「宝金剛寺」で保存されている袈裟の修復や保存に関する講座に参加した。400年前の文化財が残存していることに素晴らしさを感じました。参加者が増える工夫を考えて講座の継続を考えてください。</p> |
| | | | | |

| | | | | |
|-----|--|------|---|---|
| 委員⑪ | | 総合評価 | A | <p>着眼点は素晴らしいです。地域学として色々企画してください。保険について、公民館主催であり公益性もあり佐倉市の包括傷害保険に含めては、社会教育課と連携してください。多くの参加者を期待しています。</p> |
| | | | | |

| | | | | |
|-----|--|------|---|--|
| 委員⑫ | | 総合評価 | B | <p>佐倉市の歴史文化を体験できる貴重な講座であると思います。内容的にも普段日常で触れ得ないことであり、専門的に知識のある方や興味のある方には素晴らしい講座であると思います。しかし、土日の開催にも関わらず、参加者はほぼ高齢の方方で、若者の参加はないようです。せっかくの素晴らしい企画なのになぜそのようなメンバー構成になるのか「楽しく学べる」について改善の余地があるように思います。</p> |
| | | | | |

| | | | | |
|-----|--|------|---|---|
| 委員⑬ | | 総合評価 | B | <p>1. 事業内容は和田地域学であるが、文化財がつなぐ地域の歴史文化で取り組みとしてはいいと思います。</p> <p>2. 和田の古道、はたおり体験等、他の地域の方から見れば参加したい題材です。</p> <p>3. 参加人数を増やすためにどうするかということです。SNSを活用したり、もっと講座のPRをしてください。</p> |
| | | | | |

| | | | | |
|-----|--|------|---|--|
| 委員⑭ | | 総合評価 | A | <p>佐倉にとって大切な歴史を伝える事業と思います。もっと多くの方々に関心を持っていただく努力を続けていただきたい。</p> |
| | | | | |

| | | | | |
|-----|--|------|---|--|
| 委員⑮ | | 総合評価 | A | <p>○林牧場、林先生の講義は良かった。</p> <p>○SNSを活用してください。</p> |
| | | | | |